

別記 (五)

解決報告書

日本交通労働組合連盟
東京交通労働組合自動車部
三河島支部

一 問題の発生
 壬子以来、乗合タクト乗合日比谷乗合、三社が今春二月合併し東京環状乗合となつた。旧壬子環状は収益の上る業では東京近郊バス中では五指を屈する中に位置し、労働条件は最下位に属する程劣悪であり従つて満々たる不平の中、働いてゐるが従業員は全社を概して労働条件が改善されるものと期待してゐた。しかるに八月二十一日新会社に依る労働条件が発表され、新組合の発令があつたがこれには従業員が期待に全く相及し、本給の四割以上の減であり、宛先東京市電に於ける一昨年の更改給と似てゐる。即ち従来二月二十五銭の最高級者が一月八十銭となり、一月九十銭の最低級者が一月の四割減となり、乗客に於ては一月八十銭の最高者が五十八銭となり、八月の最高級者が四月の最高級者より更に減額される。更に新に従来より手當制を制定して即ち精勤手當乗客の合算手當は月依り改手當等に依り、その減額を埋め合はせると、会社は否か、この手當は月に依り高底があり、その上、欠勤遅刻早退その他に依り差引かれるので、決して生活の基本とならない。更に重火事事はタクト日比谷は解散手當を支給した上、本給も旧壬子の秋々より更に優つてゐるのである。同じ会社であり、作らぬの不合理的な取扱いをしてゐる。更に重火事事はタクト日比谷は解散手當を支給した上、本給も旧壬子の秋々より更に優つてゐるのである。同じ会社であり、作らぬの不合理的な取扱いをしてゐる。

二 組合組織闘争の烽火
 以上の大衆の不满の高揚は組合組織への希望を突展し、先づ近接の東京自動車新